

# かもがわ

# 議会だより

第55号 平成30年(2018年)

11月15日

発行 鴨川市議会報編集委員会  
〒296-8601 鴨川市磯渚1450番地 電話047(0)93(0)7825  
ホーローサービス <http://www.city.kamogawa.l.jp/>



## 第3 回定例会の主な内容

- 決算の状況…………… 2
- 議案質疑…………… 4
- 議案に対する討論…………… 5
- 常任委員会の審査内容…………… 6
- 一般質問…………… 13
- 議決結果・賛否の公表…………… 22
- 中学生だより…………… 24



マチイロ

電子版を見るためのアプリ

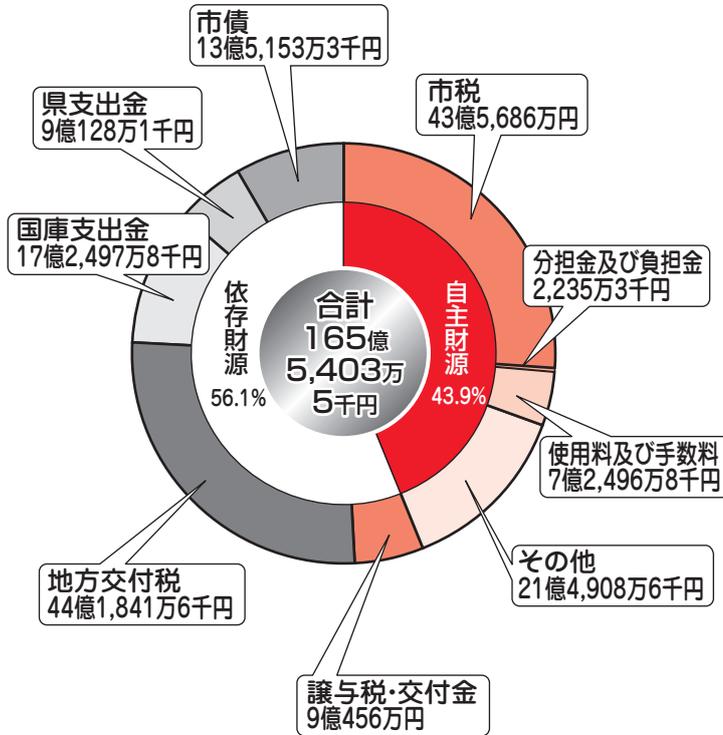
※広報紙をスマートフォンやタブレットで

「四方木地区収穫祭」 四方木地区に古くから伝わる「餅かご神興」。神社に奉納された後、皆さんに振る舞われます。

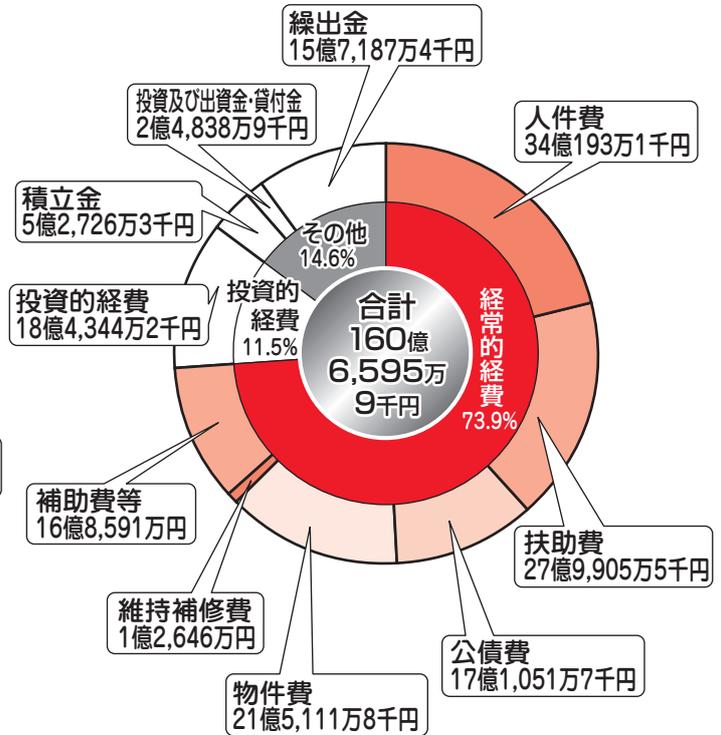


# 平成 29 年度一般会計決算

## 歳入



## 歳出



## 主な歳入 財源

( )内は対前年度比

### 地方交付税

自治体の財政力に応じて配分される国からの交付金

**44億1,841万6千円**  
(△1億8,378万4千円)

### 市税

市民税や固定資産税等の税金

**43億5,686万円**  
(+1,326万1千円)

### 国・県支出金

事業等に対して国や県から交付される負担金や補助金など

**26億2,625万9千円**  
(△3,000万4千円)

### 市債

特定事業に充てられる国や金融機関からの借入金

**13億5,153万3千円**  
(△1億6,729万4千円)

### 分担金・負担金・使用料・手数料

事業に対する地元負担金や施設使用料など

**7億4,732万1千円**  
(△8,831万1千円)

### 譲与税・交付金

地方消費税交付金など国や県から配分される交付金など

**9億456万円**  
(+5,823万7千円)

## 一般会計市債借入残高の推移

平成29年度	190億 541万1千円
平成28年度	194億9,957万3千円
平成27年度	194億3,208万3千円

## 一般会計基金残高の推移

平成29年度	44億 336万8千円
平成28年度	46億4,542万9千円
平成27年度	49億3,476万2千円

※各年度の決算資料より抜粋。

# 幹線市道、貝渚大里線の貝渚橋が完成



## 主な歳出

## 使いみち

( )内は対前年度比

### 民生費

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護などに要する費用

**53億2,819万8千円**  
(△5,747万6千円)

### 総務費

庁舎管理、企画政策、税金、戸籍、選挙、監査などに要する費用

**28億8,326万4千円**  
(△1,221万2千円)

### 公債費

市が借り入れた借金の返済に要する費用

**17億1,054万3千円**  
(△2億3,800万1千円)

### 衛生費

各種健診、予防接種、ごみ、し尿処理、環境対策などに要する費用

**16億9,223万3千円**  
(△5,763万円)

### 教育費

小中学校や幼稚園、社会教育、スポーツ振興、学校給食などに要する費用

**14億4,962万2千円**  
(△3,905万1千円)

### 消防費

安房広域(消防、救急)への負担金、消防・防災、交通安全などに要する費用

**7億5,588万5千円**  
(△1億1,200万7千円)

### 土木費

都市計画、道路、橋梁、公園、河川、下水道、市営住宅などに要する費用

**8億6,784万7千円**  
(+4,065万5千円)

### 農林水産業費

農業、林業、水産業の振興などに要する費用

**7億5,586万円**  
(+1億6,351万6千円)

### 商工費

商工業、観光業の振興などに要する費用

**4億2,309万9千円**  
(+7,295万5千円)

### 議会費

議員報酬や調査費など議会運営に要する費用

**1億9,618万8千円**  
(△450万5千円)

### 災害復旧費

農林水産業施設や公共用土木施設の災害復旧に要する費用

**4,655万6千円**  
(+1,107万4千円)

### 労働費

労働者の福祉向上などに要する費用

**132万4千円**  
(+2万5千円)

※費目ごとの具体的な事業については、「広報かもがわ」や「市ホームページ」などもご覧ください

## 平成29年度の会計別決算状況

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	165億5,403万5,191円	160億6,595万9,490円	4億8,807万5,701円
国民健康保険特別会計	50億5,592万7,344円	47億9,559万5,742円	2億6,033万1,602円
介護保険特別会計	43億7,946万3,489円	42億7,591万8,871円	1億354万4,618円
後期高齢者医療特別会計	4億3,852万6,030円	4億3,638万1,030円	214万5,000円
合計	264億2,795万2,054円	255億7,385万5,133円	8億5,409万6,921円

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
水道事業会計	収益的	17億8,581万2,682円	13億7,341万1,554円	4億1,240万1,128円
	資本的	1億6,036万3,520円	5億8,401万4,757円	△4億2,365万1,237円
病院事業会計	収益的	7億7,325万8,077円	8億1,971万9,267円	△4,646万1,919円
	資本的	1,000万円	3,244万5,186円	△2,244万5,186円

# 9月定例会

## 平成29年度決算など14議案を可決・認定

平成30年第3回定例会は、8月31日から9月27日までの28日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から提出された14議案は、全て原案のとおり可決・認定・承認されました。また、陳情3件は、審査した結果、不採択2件、★趣旨採択1件となりました。

9月5日・6日には、9人の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。

9月7日には、久保忠一議員・杉田至議員・本吉正和議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

#### ●議案第51号 平成30年度鴨川市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて

**問** 学校施設のコンクリートブロック塀の撤去工事費用について国等の補助金が交付されるのか。

**答** 工事が400万円以上の事業を対象として国から3分の1が交付される。

**問** 民地との境界に

あるブロック塀、接続する老朽化したネットフェンス等の工作物撤去や改修は。

**答** 当事者との協議など、適切な対応を図る。本年度は緊急措置として、危険なブロック塀の撤去、改修を行うものがある。



改修の必要なブロック塀

老朽化したネットフェンス等の工作物についても、今後適切に改修したい。

**問** 漁港災害復旧費409万2000円の内訳は。

**答** 本年7月28日の台風12号により被災した天面漁港の防波堤およびコンクリートたたきの復旧、江見漁港のコンクリートたたきの復旧、浜荻漁港の防波堤の復旧工事を行った。

●議案第52号 鴨川市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の

制定について

**問** 本市の待機児童の有無は。

**答** 現在、待機児童はいない。

**問** 認定こども園の今後の整備計画は。

**答** 江見認定こども園に続き、今般の改正により西条幼稚園・西条保育園が西条認定こども園、長狭幼稚園・長狭保育園が

長狭認定こども園となり計3カ所の公立認定こども園が誕生する。

また、東条幼稚園・東条保育園は、本年度をもって閉園を予定。鴨川田原、天津、小湊の各幼稚園・保育園については、平成32年度に幼保連携型認定こども園への移行を予定している。



天面漁港の復旧の様子

●議案第58号 平成30年度鴨川市病院事業会計補正予算(第2号)について

**問** 委託料450万円の内訳は。

**答** 電子カルテシステムの導入および安房保健医療圏内ネットワーク環境の比較検討に378万4000円。医師等人材確保・育成業務に71万6000円を計上した。

電子カルテについては、カルテ記録の軽減、保管スペースの縮減、医療報酬上のエラーの未然防止、検査結果や必要な医療情報の確認が容易になるなど、70床規模の病院に最も相応しい電子カルテの選定および医療情報連携ネットワーク化について検討するものである。



**問** 電子カルテ導入と医療情報連携ネットワーク化における機種ならびにソフトウェア選定の基本的な考え方は。

**答** 国保病院は安房医療圏の地域医療構想のもとで、他の医療機関との連携を指しており、在宅医療や地域包括ケアにも対応することが必要となる。選定に当たっては、他の医療機関との医療情報ネットワーク化や個人情報に関する医療や健康情報を収集・保存、活用できる仕組みを目指している。

導入後のカスタマイズ(仕様の変更)が最小限であり地域の情報共有を安価に実現するシステムの選定と導入が必要であることから、今回の委託により検討を進めたい。

**認定第5号** 平成29年度鴨川市病院事業会計決算の認定について

**問** 訪問看護ステーションの収支について、収益は黒字なのか。



**答** 平成29年度の収益は約3895万円となったが、収支は約400万円の赤字であった。

**問** 在宅医療部門の今後の展望は。

**答** 平成32年度の新病院開院に向け、訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護、介護支援専門員のケアプラン作成に係る居宅介護支援、訪問介護、栄養ケア等を一体的に行う地域包括ケアセンターを設置し、在宅支援のさらなる充実・強化を図りたい。

**問** 在宅・訪問介護職員のレベルアップのための教育が必要だと思いが。

**答** 個々のスキル(技能)を高めるため、各種研修への参加や本市の保健医療参加の助言を得ながら、院内研修を行いたい。

また、市内の医療機関や介護サービス事業所等との連携のもと、在宅支援に係る専門研修を開催しながら職員のスキルアップを図り、医療・介護サービスの質的向上を図りたい。



●認定第1号 平成29年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について

**賛成** 長谷川 倫秀 議員  
厳しい財政状況の中、財源確保を図りながら、里山オフィス整備工事、総合交流ターミナル機能

拡充工事などの実施を初め、清掃センターの基幹的設備改良工事など、事業を着実に実施したことに対し、評価をする。



しかしながら、本市の財政状況は非常に厳しい状況であり、今後の財政運営に当たっては、経常経費のさらなる削減に努めながら、進めるべき事業を的確に実施すること、また、事業実施に際しては、特定財源を確保することなどにより健全な財政運営に取り組み、より一層の市民生活の向上を図られるよう、要望す

る。

**反対 平松 健治 議員**

本市財政の健全化を示す各指標は、すでに県内自治体の中でも、ワースト3やワースト4であるが、今年度は、さらに各指標の全てを悪化させた。特に、実質収支比率が4.5%となり、赤ランプ点灯の3%が目前となってしまった。

また、自治体の貯金と言われる財政調整基金残高を、今年度は3億1000万円減らし、17億3000万円とした。これは、平成25年度残高の30億6400万円を半分減らしたことになる。

このように、29年度一般会計決算は、財政力や各指標がさらに悪化しており、認定、賛成できる内容ではない。

**●認定第5号** 平成29年度鴨川市病院事業会計決算の認定について

**反対 平松 健治 議員**

国保病院会計への一般

会計からの繰入金は、追加補正もあり、決算額は8000万円となった。この過去にない高額繰入措置を行ったにもかかわらず、病院会計が3621万円の赤字との決算報告である。

これは、病院の実質赤字が2項目の累計額1億1621万円となったことになるが、これも過去の最高額である。

これらから、国保病院については、今後の大幅な経営改善としっかりした経営管理を願いたい。

**●陳情第1号** メガソーラー建設計画に反対する陳情書

**趣旨採択 賛成**  
**平松 健治 議員**

委員長報告によると、不採択の議員も、趣旨採択の議員も、いずれも本市に許認可権限がないことを述べている。

本市に権限がないのであれば、本市議会から県への意見書要請としての

陳情をしてもらうなどの方法論もあったのではなにかと考える。

多くの市民が動物の拡散や環境汚染、自然破壊等について、そして鴨川の将来を心配されている。これらの市民の声を重く受けとめ、今回の建設経済常任委員会の決定した趣旨採択に賛成をする。

## 常任委員会の審査内容

各常任委員会に付託された議案の審査内容の主なものを掲載します。

### 予算常任委員会

**●議案第54号**

平成30年度鴨川市一般会計補正予算(第4号)

**問** 自主財源を原資とする事業には慎重な対応を願いたい。

**答** 財政等適正化計画を策定し、財政基盤の安定化に取り組む。

**問** 骨髄移植ドナー支援事業について、これまでの本市の実績は。

**答** 平成29年度末のドナー登録者数は145人で、骨髄提供者は、平成3年からの統計では3人である。

**問** 対象は、住民票のある人だが、市外の事業所に勤務の場合は、事業所への1万円の助成はどうなるのか。

**答** ドナーの方がドナー休暇を取得した場合、国内の事業所であれば対象となる。

**問** 市単独の土地改良整備事業の内容は。

**答** 金山ダムからの農業用幹線水路が漏水しており、管理者である加茂川沿岸土地改良区が実施する敷設替工事について補助をする。

**問** 地域高規格道路整備促進事業補助金につ

いて、館山・鴨川道路の整備促進は、市長の公約であるが、再度伺う。

**答** この道路は自動車専用道路として整備すべく期成同盟会も立ち上がり、国や県も前向きな姿勢である。本市としても50万人の署名やのぼり旗により機運を高め情報発信していきたい。

**問** 小学校施設改修事業について、エアコン設置に係る今後の見通しは。

**答** 来年夏までの設置に向け、必要な施設の状態を調査する。次回の補正予算で、工事費等を計上し、工事に着手する。



### 決算常任委員会

**●認定第1号**

平成29年度鴨川市一般

会計歳入歳出決算の認定について

**問** ★<sub>3</sub> 不納欠損額について、その経緯と未収金の対策はどうしているのか。

**答** 時効成立が2459件。滞納処分は執行停止後、生活保護受給や所在不明等により3年間滞納状況が継続したものが36件。滞納者の死亡、相続放棄等による即時消滅が36件になる。未納が発生した場合は督促状の送付、電話等による催告、臨戸徴収等を行い、個々の事情に応じた対応に努めている。また財産の差押さえ等の処分を実施する場合もある。

**問** ★<sub>4</sub> 合併算定替えによる特例交付分の減少に伴う普通交付税の今年度以降の見込みは。

**答** 平成30年度が37億7491万6000円、平成31年度が37億円、平成32年度が36億7000万円と見込んでいます。

**問** ふるさぽーと寄附金について、価格帯と件数は。

**答** 収入金額は2億2695万4381円、件数は2463件である。

寄付金額の多い層は、1万円から2万円未満で743件、構成比は30.2%、2番目が10万円から50万円未満で593件などとなっている。

**問** 体育施設使用料の減額・免除の状況は。

**答** 野球場は182件中39件、ソフトボール場は239件中50件、文化体育館は707件中291件、陸上競技場は224件中57件、サッカー場は611件中479件となり、681万6720円が減免措置されている。

**問** ★<sub>5</sub> 事業仕分けを行った結果として、平成30年度予算に反映されたものはあるのか。

**答** 不要・凍結とされた2事業のうち、市税納期前納付報奨金は、平成30年第1回定例会において廃止を含む市税条例の一部改正を行い、平成31年度から廃止する。

また、市民ギャラリーの維持管理については、遊休施設の移転や郷土資料館および文化財センターとの統合を視野に入れたら、施設のあり方について検討を進めている。

**問** 緊急通報体制等整備事業について、活用状況と効果は。

**答** 相談件数は133件、その内、緊急連絡が5件あり、有効な方法と考えている。

**問** 学童保育の今後の方向性は。

**答** 学童保育は国も力を入れて、事業でもあり、調整を図りながら、社会福祉法人の運営に切り替えていければと考えている。



昨年度の仕分け風景

**問** ★<sub>6</sub> 市民後見推進事業の内容と実績は。

**答** 認知症高齢者等の成年後見制度の円滑な利用促進のため、家庭裁判所の管轄する安房圏域において広域的に市民後見人の養成研修を実施したもので、参加は26人である。

**問** 看護師等就学資金貸付金の推移と今後の見込みは。

**答** 平成29年度決算では前年度からの継続貸付者が34人、新規貸付者が13人の合計47人で横ばいの状況である。

また、貸付者のうち、市内医療機関へ就職した者は平成29年度が18人と増加傾向にある。

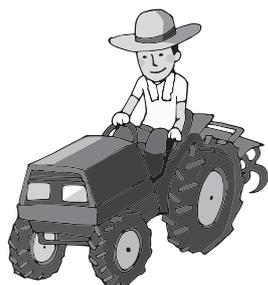
**問** 総合交流ターミナル機能拡充事業について、体験交流協会から(株)良品計画へ指定管理者が変わったが、出品者に変化はあるのか。

**答** 出品者については、時期とか季節、また年に

よって変動がある。現状ではおよそ220人の方が出品している。

**問** 担い手支援事業の認定農業者等農業用機械整備事業補助金の交付件数と内容、またその要件は。

**答** 平成29年度の交付件数は7件で、その内容は乾燥機やもみすり機、コンバインやトラクターの購入、また農業用倉庫建設等である。補助の要件は、認定農業者であることが前提だが、個人や営農組合等でも可能である。



**問** 大賀ハスの里の管理委託の内容は。

**答** 鴨川市農林業体験交流協会に大賀ハスの圃場とその周辺の環境整備として、草刈りや施肥、ま

た水の管理、株づくり等の作業を委託した。

**問** 平成28年度および平成29年度の観光入込客数は。

**答** 観光入込客数は、平成28年度が285万4000人、平成29年度が280万7000人、宿泊者数については、平成28年度が81万人、平成29年度が77万5000人となっている。

**問** 地域住宅支援事業の住宅取得奨励補助金の事業実績は。

**答** 平成29年度は14件、458万5000円の補助金を交付し、31人の方が転入した。内訳は、中古住宅の取得が6件、新規住宅の取得が8件であった。また、事業開始の平成23年度から昨年度末までの7年間では76件で3819万2000円を交付し、200人の方が転入した。

**問** 市道整備事業について、市内各地からの市



市民要望に応える市道整備事業

民の要望に応じていくために必要な予算額と担当課の人員配置についてどう考えているのか。

**答** 市の予算には限りがあるため、要望者や地元の方々と相談しながら優先順位をつけて対応している。また、職員については、維持係5人、整備担当の土木係が5人で

取り組んでおり、この人員で予算の適正な執行に努めている。

**問** 道路橋梁維持補修事業には、修繕と工事請負、あるいは原材料の補修材料といったものがあると思うが、工事請負と資材支給の区分の仕方は。

**答** 工事請負は、舗装補修工事と側溝や排水路の補修工事になる。一方、資材支給は地域の皆様による舗装作業への生コン支給になる。なお、舗装を剥がすなど重機を伴う作業については市で対応している。

**問** 今後、廃止を考えているような公園、あるいは、緑地公園の整備計画はあるのか。

**答** 市内12カ所の公園の適正管理に努め、廃止の予定はない。また、現在、総合運動施設内のサッカー場の脇の用地、約8000㎡を芝生広場とする公園整備を計画している。

**問** 災害対策用として今後さらに備蓄すべきものや、不足していると思われる資機材などがあるか。

**答** 平成30年度に、水道局で3tの給水車を導入する予定である。非常用飲料水のペットボトル

は、平成30年度の購入分6240本を併せ、約3万2000本の備蓄となる見込みである。また今後は、避難所でのプライバシーを確保するための簡易テントなどを購入したいと考えている。



毎年行われている災害訓練

**問** 図書・AV資料購入において何冊の図書を購入し、その、決定は誰がするのか。

**答** 図書館では3512冊を購入した。購入に際しては、図書館司書の情報収集と図書館協議会の

委員からの意見、利用者からのリクエストなども参考に選書会議を経て図書館長が最終的に決定している。

**問** 現在の総合運動施設の使用料収入では、土地借上料も支払うことができない状況であり、使用料の引き上げや指



図書・AV資料の充実を図る図書館

定管理への移行も考えられるのではないかと。

**答** 使用料は来年10月に予定されている消費税の改定時期に合わせて検討する。また、指定管理者制度の導入や施設への広告掲載も考えられるが、現在、スポーツで稼ぐ力応援計画事業に取り組ん

でおり、その中で一体的に検討していく。

### 総務常任委員会

#### ●議案第53号

物品購入契約の締結について（消防ポンプ自動車購入）

**問** 消防ポンプ自動車の更新時期の見直しは。

**答** 現在20年を目途に更新しているが、以前に比べて車両やポンプの性能が良くなっているため、今後は延長する方向で消防委員会や消防団本部と検討していく。

#### ●議案第55号

平成30年度鴨川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

**問** 国庫支出金（返還金）が7025万1000円の増額となった要因は。

**答** 平成29年度は、これまで増加傾向にあった医療費が対前年度比で5億814万6000円、13・5%の減となったためである。

#### ●認定第2号

平成29年度鴨川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について



分団の消防ポンプ自動車

**問** 保険給付費は対前年度比で約1億9800万円の減、医療費も約5億800万円の減となっているがこの要因は。

**答** 1点目に、療養給付費のうち入院費用が長期入院者数や高額医療費が減ったことにより、対前年度比で8830万5000円減少したことになる。

2点目は、社会保険適用の拡大により被保険者数が対前年度比で656人減ったことによる。

**問** 検診受診率向上のための対策は。

**答** 平成29年度から日曜日の検診1日を2日間としたほか、特定健診を初めて受ける40歳の方の自己負担額を無料とする取組を行った。また、鴨川健康ポイントシートを作成し、目標値を達成した場合にはポイントを付与し、シート提出者には特定健診に加え、がん検診の1項目の自己負担金を無料とした。また平成30年度からは未受診者への勧奨や不定期受診者に対する、受診案内を行っている。

各種特典のある鴨川健康ポイントシート

**問** 国保税の滞納要因として考えられることは。

**答** 事業の不振や離職等により納付困難となったことや累積している滞納額に分割して納付する額が追い付いていかないことなどが考えられる。



**問** 国民健康保険を運営するために基金はどの程度必要か。

**答** 厚生労働省より目安が示され、過去3ケ年における保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金を含む平均年額の5%以上を積み立てることが望ましいとされ、本市では約2億円となる。

● 陳情第5号

玄関まで来てくれる乗合タクシー実現に関する陳情書

**問** 本年度長狭地区の実証運行について市からの支出は。

**答** 本年度の運行期間は12月から来年3月末までの4ヶ月で159万7423円である。

**問** 実証運行の期間は。

**答** 平成31年度末までの1年4ヶ月を予定している。また基本的に本格運行に移行することを考えているが、想定以上の損失等が出た場合は運行方法の見直しを考えていく。

**問** 公共交通のニーズ調査はどのように進められたか。

**答** 市民に対しアンケート調査を行った。また大型商業施設、医療機関においてヒアリング調査を行った。

**反対討論** まず1点目に

デマンド型乗合タクシーは本市では初の試みとし

て12月から長狭地区で実証運行が行われるので、その有効性や課題等の検証結果を踏まえ判断すべきと考える。

次に、2点目にデマンド型乗合タクシーはその運行方式からタクシー事業者と競合することになる。地域公共交通網形成計画の基本方針にもある通り、公共交通に係る機能分担の明確化と連携強化による持続可能な公共交通網の形成に努めていく必要がある。

そして、3点目に長狭地区での実証運行は地域公共交通会議等において公共交通の空白地域の解消に向けたアンケート調査等の結果を基に多角的な協議、検討を重ね導き出された運行方式と導入地域であると認識している。これらを総合的に踏まえ本陳情に反対する。

●陳情第6号

国保税の1世帯2万円引き下げに関する陳情書

**問** 財政調整基金は一番多い時でいくらあったか。

**答** 基金の最高額は、平成18年度で約8億円であったが、平成19年と平成26年の保険税の税率改正の際、基金を活用することとしたため、現在の基金残高は100万円である。

●反対討論

国保制度については、制度の抱える構造的問題を解決し、持続可能な制度構築を求めることのほか、国保制度の健全運営を図るための各種要望や医療保険制度改革についても県や全国市長会を通じて国への要望活動を継続している。

国保税の引き下げについては、決算補填や国保税を引き下げるための法定外繰入れの実績はないが、平成25年度以降、財政調整基金から繰入れを

行い、国保税率の抑制と被保険者の負担軽減に

努めた結果、1人当たりの医療費は、県下では上位から5番目である一方、1世帯当たりの負担水準は54団体中の50番目と負担の低いほうから5番目に位置づけられている。

また、総務省や県の国民健康保険運営指針では、国保財政を安定的に運営していくためには、必要な支出を国保税や国・県の負担金等で賄い、国保会計の収支が均衡していることを原則としており、一般会計からの法定外の繰入れは、保険給付と保険料負担の関係性が不透明となること、国保の被保険者以外の住民に負担を求めるとは解消すべきである旨の指針も示されている。

これらを総合的に勘案し、本件陳情を採択することはかなわないものと判断する。

建設経済常任委員会

●議案第59号

平成29年度鴨川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

**問** 現在、遠方監視体制が整っていない天津小湊地域を含めて一元的に管理できるよう横渚浄水場監視制御設備更新工事の実施に着手したとあるが、以前の管理状況と工事の進捗状況は。

**答** この工事は、合併特例債を活用し平成29年度



現在の水道局の設備

から平成31年度までの3

カ年で実施する予定で開始し、平成29年度の進捗率は概ね59%である。

平成31年度実施分を30年度に前倒しをしているので、今年度で100%となる予定である。

**問** 有収率が減となっている理由に、発見困難な漏水が増加したとあるが、その状況と取り組みは。

**答** 人口の密集した沿岸部へ布設された石綿セメント管は、振動や曲げに弱く、近年では漏水の多い管であり、まだ沿岸部へ多く残っている。また地質的に砂層やれき層が多く、漏水したとしても地下へ浸透してしまうため発見できない場合が多い。

旧鴨川市は、紙ベースの図面管理のため、管の種類や口径、故障や漏水履歴等の管路の管理に苦慮している。このため資産管理ができ、マップイン

グの情報から管路評価を

行い、管路更新計画の作成機能を有した施設の管理システムを、来年度の導入に向けて検討しており、効率的な更新計画の基に、従来の漏水探査や各所の水圧測定等を実施して有収率の向上に努める。

●陳情第1号

メガソーラー建設計画に反対する陳情書

**問** 市長が事業者に対して提出した5つの要望について、不十分であった回答部分のその後の進捗状況は。また市から業者に対して催促しているのか。

**答** 以前に報告した内容と変わらない状況であり、機会あるごとに回答を事業者へ求めていく。

●反対討論

本陳情にある「本計画を食い止める」ことに関しては、本市に権限がないこと、実現の可能性が低いことから、不採択としたい。

趣旨採択討論 この陳情

以外にも、本件に関して、本市に要望書や署名が提出されていること。さらには、国としても今後の法改正が検討されていることなども考慮し、実行権がないから不採択と割り切らず、鴨川の声を今後の法改正にいかしていくという意味合いからも、趣旨採択としたい。

文教厚生常任委員会

議案第52号

鴨川市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について

問 長狭認定こども園も一体型で運営されるが、一体型でなくとも認定こども園としての要件を満たすのか。

答 認定こども園は、施設が一体型でなくとも認



親子で楽しそうに遊ぶ認定こども園

定の対象となる。

議案第56号

平成30年度鴨川市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 平成30年度からの介護保険の第7期保険料改定に当たって想定する基金額をどのように考えるか。

答 基金として初年度に積立てをし、2年目以降に取り崩していくことが望ましい形とされている。

なお、9月補正分を含め介護給付費準備基金積立金は3億7462万5864円となる。

議案第58号

平成30年度鴨川市病院事業会計補正予算(第2号)

問 大病院と同じ電子カルテは、経費の面等を考えると必要では無いと考えるがいかがか。

答 システム自体を入れることが新病院に取って本当にベストかどうかも含めて、安房保健医療圏

内の医療機関と連携も踏まえた最善なものにしていきたいと考えている。

問 事業のタイミングとして時期尚早ではないか。

答 プライマリケアや包括ケアの推進のため、そして病院の医師の確保のためにも、どんな電子カルテが良いかの判断が、今必要と考えている。

認定第3号

平成29年度鴨川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

問 不納欠損の詳細を伺いたい。

答 対象者の人数は215人である。その内訳は死亡された方が10人、転出が8人、職権消除が1人、納付の意思がない方196人となっている。

認定第5号

平成29年度鴨川市病院事業会計決算の認定について

問 新病院が立ち上がる前に「あり方検討委員会」で話の拳がった経営改善はどうなっているのか。

答 病院の経営改革として、病院の稼働率を高めること、保健医療参与の竹内先生とスタッフ一同で新病院が出来る前から対応していこうとしているので、今年末にもその成果が出てくると思っている。



経営改善が議論される検討委員会



明政会  
佐々木 久之 議員

**幼保一元化の取組について**

**問** 江見認定こども園が設置されて変わったことは。

**答** 施設全体を活用し全ての職員が0歳から5歳のお子さんの発達に配慮した切れ目のない総合的教育・保育が可能になり、今まで受け入れができなかった3歳の教育ニーズのお子さんの受け入れも可能となった。

**問** 子ども達がどのように変わったのか。

**答** 異年齢交流等の活動により年長のお子さんは年長者としての自覚が、年少のお子さんは年長のお子さんの活動に接し、その行動に広がりが生まれている。今後、多くの

**問** 熱中症予防策としてエアコンの設置を  
**答** エアコンを幼稚園および小中学校に整備する

職員が関わった中での切れ目のない総合的な教育保育の実践は、子ども達のそれぞれの発達に素晴らしい環境になっていると感じている。

**安全対策について**

**問** 大阪北部地震のブロック塀の倒壊に対し本市の対応は。

**答** 当日6月18日に学校教育課の職員が点検し、翌19日に県の教育委員会から出された通知を踏まえ、学校敷地内、通学路にあるブロック塀の危険箇所の緊急点検と子どもたちに安全指導を行うよう各学校へ指示し、25日にはブロック塀の点検が完了した。  
この結果、幼稚園の敷地内の危険性のあるブ

ロック塀は1園で1カ所、学校敷地内の危険性のあるブロック塀は6校で11カ所、小中学校の通学路における危険性があるブロック塀は55カ所あることを把握した。

**問** 危険箇所の対応は。

**答** 現在、撤去あるいは補修工事を進め、工事が終了するまでの間、学校では子どもたちが近寄らないよう貼り紙やコーン、バーで規制線を張る等の対策を講じている。通学路にある危険なブロック塀については民地であり修繕は持ち主の判断となることから広報かまがわで点検を呼びかけている。すでに天津地区・東条地区では幾つか自主的な撤去を確認している。

**問** 学校遊具の管理、メンテナンスは。

**答** 学校教育計画を作成し、施設整備の老朽化等に起因する事故防止に取り組んでいる。安全管理については原則として毎日、目視や揺らすなど日常点検を実施している。また毎月定期的に安全点検日を設け、遊具に乗ったり登ったりするなど詳細な点検を実施し安全性を確認している。

**問** 熱中症対策は。

**答** 教育委員会では、今年度これまでに5回に渡り文書を出し、各学校に注意喚起や事故防止の徹底を指導してきた。体育祭の実施に当たっては競技内容を精選し、短時間の練習で実施可能な種目に変更したり、テントを

**問** エアコン設置と使用料は。

**答** エアコンを幼稚園および小中学校に来年夏までに整備することとし、整備に必要な調査費を9月補正予算に計上した。設置後の水道光熱費などは保護者に徴収するのではなく市で負担する。





明政会  
松井 寛徳 議員

**問** 農業の振興について夢と希望の持てる施策を  
**答** 制度や情報を有効に活用し、積極的に支援・推進する

**問** 農業の現状、取組状況について

**問** 農業従事者の高齢化、後継者不足、農産物の価格の低迷等、大変厳しい状況である。併せて耕作放棄地の増加や有害鳥獣の範囲の拡大により、営農意欲の低下にもつながっており、早急な解決策が必要と考えるが。

**答** 販売農家数・農業従事者数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいる。

農業生産基盤の整備、地域の特色に応じた営農基盤の整備促進、農産物ブランド化などを推進する。認定農業者の方々に、高齢化や後継者不足の進む地域の担い手として、支援をしていく。

**問** 経営所得安定対策に係る米の直接支払交付金について

**問** 制度の廃止は生産意欲の低下にも結びつくものと考えているが。

**答** 制度や情報を活用し、米の生産調整が農業者のメリットにつながるよう努める。

**問** 市として、交付金を支払う考えはないか。これこそ生産調整が農業者のメリットにつながると考えるが。

**答** 米価の変動に対する永続的な対策にはなり得ない。まずは、米の流通や販路拡大について研究を進め、国の施策などを活用しながら、農業者のメリットを引き出したい。

**問** 圃場整備事業について

**問** 圃場整備事業の状況は。

**答** 現在、経営体育成基盤整備事業加茂川中部地区を実施しており、平成33年度に工事の完了を見込む。計画中の事業として、北小町地区の圃場整備事業があり、平成32年度の事業採択を目指している。他にも押切、坂東、



工事が進む大里地区

太尾、竹平地区において、圃場整備推進委員会を中心に事業実施に向けた準備に取り組んでいる。

**問** 加茂川中部地区は当初の計画より遅れているが、農業者の高齢化や農機具の更新等にも影響を及ぼすので、工事の完了が遅れることのないよう願いたい。

**答** 地元改良区や県とも連携を密にしながら事業推進に努めていきたい。

**問** 有害鳥獣対策について

**問** イノシシ棲み家撲滅特別対策事業について地域からの要望結果は。

**答** 42地区、約54・8haとなっている。補助金額は、説明会において示した単価を大幅に下回って



いるので、県に対し追加要望をしていく。

**問** 農業のみならず、漁業、観光面からもトンビの被害が出ていると聞いているが、これらの対策について伺う。

**答** まずは餌を与えないことや、食べ物を持っていないことなど注意喚起が重要である。

今後、関係団体等とも有効な対策について検討・協議していきたい。



明政会

川崎 浩之 議員

**問** 国保病院の建て替えの進捗状況および財源確保について伺う。

**答** 本年2月に基本設計を完了し、現在は、実施設計に着手している。新病院のコンセプトは、1点目は、津波等災害発生時における医療や長期避難を支える拠点として整備する。2点目は、国保病院を公的医療の拠点として整備する。3点目は、地方創生推進の地域の拠点として整備する。新病院は、現在の国保病院の南側に新たに建設する。国保病院建て替えに係る事業費および財源は、現段階では、病院本体の整備に約20億円を要するほか、医療機器、医療情報システムの導入、外構工事等に5億100万円、

**問** 市立国保病院の進捗状況や経営改革は平成32年の供用開始を予定している

合計25億100万円を事業費として見込んでいます。これら事業費に係る財源は、国県補助金3億3000万円を初め、交付税措置のある病院事業債15億1590万円、合併特例債5億530万円、一般会計からは1億4980万円を見込んでいます。国保病院の経営改革については、千葉大学医学部附属病院地域医療連携部長の竹内公一先生を、本市の保健医療参与として委嘱するとともに、国保病院に経営統括支援員を配置し、病院改革に取り組み始めた。回復期の地域包括ケア病床の稼働に向けて、本年度、国保病院に理学療法士や医療ソーシャルワーカーを配置し、病床利用率の向上

を図っている。この7月から東日本税理士法人に委託し、財務シミュレーションの作成や経営安定化に向けた事務事業の見直し、地方独立行政法人化のメリット分析等を開始している。また、カルテに係る業務の軽減や、診療報酬上のエラーの未然防止を図るため、電子カルテ導入と、医療情報連携ネットワーク化の検討を初め、



国保病院

積極的に教育研究に携わる医師等が、国保病院における診療を通じ、医療技術を身につけられる環境を提供する、いわゆる寄附講座を活用した医師等の人材の確保・育成の検討を、本年度後半から開始する。

**問** 経営形態の見直しは。

**答** 地方独立行政法人となると市とは別の法人格を有する経営主体となるが、予算や財務、契約、人事等の面でより自立的、弾力的な経営が可能となる。

そして、この地方独立行政法人は、市が設立団体として定款を定め、設立するが、これまでの公立病院同様に、公共性を確保しつつ、民間的経営

手法を導入し、民間病院並みの質的向上と経営の効率化が図れるというメリットがある。加えて公立病院と同じように病院事業に係る交付税措置の対象にもなる。

**問** 地域との関わりは。

**答** 長狭地区区長会を推薦母体とする長狭地区健康推進協議会と一体となって健康セミナーや健康づくり講演会、さらには各地区行事には国保病院の医師等が率先して健康に関する啓発活動に協力をしていく。



国保病院の屋内



杉田 至 議員

**前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画事業の進捗状況等について**

**問** 計画策定後、2年次目を迎える各種事業の進捗状況は。

**答** 事業の実施主体の強化を図るため、株式会社化した鴨川市観光プラットフォームを設立し、健康づくり活動やマリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会を試行的に提供するとともに、民間事業者の参入とその資金を活用する施設整備などを検討している。

**問** (株)鴨川市観光プラットフォームの役割とは何か。

**答** 地域と旅行者をつな

**問**

**答**

「前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画」の進捗は  
計画が「絵に描いた餅」とならぬよう事業推進を図る

ぐ観光の総合窓口機能のほか、官民一体の取り組みと魅力づくりに向けさまざまなサービスの提供など、これら業務の受託者として、精力的な事業実施を担っている。

**問** 資本金の約90%を本市が出資する法人といえども、自らの収支が均衡するよう、積極的な収益事業も展開すべきと考えるが。

**答** 株式会社本来の姿として、自らの組織の運営や営業に係る費用などを賄っていく、いわゆる自走可能な収益構造を確保することが重要であると考えている。

第三セクターとしての公益的な役割も担いながら、旅行業登録の強みを活かした旅行商品の開

発・販売や宿泊予約サイトの運営、新たなビジネスモデルの確立にも取り組んでいく。



市民会館周辺地域

**問** この計画の核となる市民会館周辺地域やフィッシュリーナ後背地の再生、その一環としてのエリア・マネジメント・センター、魅力体験広場や駐車場などの整備、空き家や空き店舗対策としてのチャレンジ・ショップの開設や賑わい交流拠点の整備、これらの波及効果など、海岸周辺地域はもとより、多

くの市民の皆さんの期待が寄せられている。今後の着実かつ実効性の高い事業推進のための取り組みについて、その所見は。

**答** 本計画には、ハード、ソフトを併せ、さまざまな事業が盛り込まれており、これらを限られた期間の中で、着実に実施していくため、幾つかの留意すべき点があると考えている。

その1点目は、数ある計画事業の中で、実施順位、費用対効果などの検証に基づく優先順位を明確化すること。

2点目として、それぞれの事業遂行について、役割分担を明確化すること。

3点目に、法的規制を初め、事業実施の障害となる事項を整理し、優先

的に問題解決を図る仕組みを整えるなど、実現の可能性を確保すること。そして、4点目として、小さな成功事例を積み重ねながら、関係者のモチベーションを高めていくことが必要だと考えている。

計画事業の推進に当たっては、行政、民間はもとより、特に、地元の方々の参画や協力が必要不可欠であるとも考えており、これらに配慮しながら、本計画が「絵に描いた餅」とならぬよう、しっかりと事業推進を図って行きたいと考えている。



フィッシュリーナ後背地



本吉正和 議員

**交通インフラの整備について**

**問** 国道128号など市内の主要幹線道路では、慢性的な交通渋滞が発生しているが、この渋滞緩和に向けた具体的な施策は。

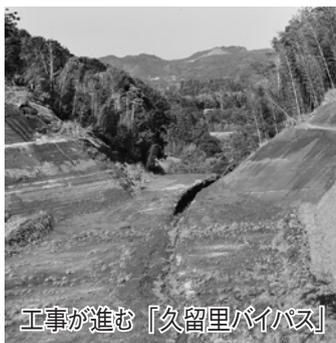
**答** この渋滞を緩和させるためには、国道128号における交通を分散させる必要がある。現在、コナカの交差点から加茂川を貝渚橋で横断し、長狭街道を交差して、千葉鴨川線J A西条給油所脇に接続する市道と、千葉鴨川線から天津小湊田原線の粟斗入口に接続する市道の整備を行っている。

将来的には、この市道が北部道路につながり、

**問** 国道128号など幹線道路の渋滞緩和に向けた具体策は  
**答** コナカ前・貝渚橋・J A西条給油所脇を結ぶ市道を整備

市街地部を通過することなく、国道128号から環状でつながる道路ネットワークが形成され、渋滞解消や目的地への時間短縮が見込まれる。

**問** 高規格道路の空白地帯と言われる鴨川地域に地域高規格道路が計画されているが、現在の進捗状況は。また、早期実現への施策は。



工事が進む「久留里バイパス」

**答** 圏央道や館山道といった高規格幹線道路を補完する地域高規格道路として外房地域では、「館

山・鴨川道路」約30kmと「鴨川・大原道路」約40km、そして「茂原・一宮・大原道路」約30kmの3路線が指定されている。そして平成29年9月6日には市民有志等による「館山鴨川間地域高規格道路推進協議会」が発

足し、その後押しにより、平成29年10月30日に地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期事業化を目指し、安房3市1町の首長および議会議長を会員とする期成同盟会が設立し、12月には国土交通省や財務省、関係国会議員への要望活動を行った。

**本市の漁業問題について**

**問** この4・5年漁獲量、漁獲額がともに低

迷し、漁獲量は最盛期の3分の1ほどに落ち込んでいるが。

**答** 日本全国の漁業・養殖業の生産量は昭和59年の1282万tをピークに平成28年には436万tと、ピーク時の3分の1までに減少しているが、漁業は農業とも並ぶ基幹産業であるので、漁協などの関係機関との連携を進め、漁業の発展に努めていく。



鴨川漁港の水揚げ

**問** 漁獲量や漁獲額を増やすための市の施策

**答** 本市の漁業者への支援は、水産資源種苗放流事業、漁業者が融資を受ける際の漁業近代化資金利子補給事業などがある。また、市営漁港の維持、補修、施設整備事業や県営漁港の維持改良の費用を一部負担している。その他に「外房つりきんめ鯛」などのブランド水産物への支援も行っている。

**問** 水産資源種苗放流事業の内容は。

**答** 鴨川市漁協、東安房漁協天津・小湊支所が主体となりハマグリ、アワビ、サザエなどを放流している。東安房地域栽培漁業推進協議会はマダイ、ヒラメを放流している。



公明党  
福原 三枝子 議員

**「メガソーラー建設計画（面積250ha）」への鴨川市の意見書について**

**問** 県に回答された意見書の内容は。

**答** 林地開発許可においては、4項目の基準がある。項目ごとの意見を8月15日に送付した。

1、調整池は、十分機能するように維持管理を徹底すること。

2、開発区域からの許容放水量を超える流水や土砂の流出、工事等に起因する油脂等の流失がないように指導願いたい。

3、農業用水等の使用に影響がないよう計画通り事業を実施すること。

4、自然動植物等の生態系保全の観点で、千葉県

**問** 「嶺岡牧」日本遺産登録申請等の今後の展開は

**答** 教育委員会と関係部署が密接に連携を図る

自然環境保全条例に基づく指導等に従うこと。

市民の皆様の不安や心配の問題点を共有するために、4項目の他にも皆様からの多くの意見、市から要望している5項目なども8月15日に県に送付した。

**問** 再度の事業者の説明会開催を追加意見としていただきたいが。

**答** 事業者と市民の皆様との信頼関係を築くことが重要であるため再度の説明会の開催を求めている。

**新しい家庭教育支援について**

**問** 平成29年6月議会の答弁で、家庭教育支援チーム設置を積極的に検討していくとのことであったが、進捗状況は。

**答** 人材確保が難しく、家庭教育支援チームの核となる組織形成が課題。

**問** 現在、支援が求められている背景は、文科省の調査・研究（不登校やひきこもり等）結果が深刻であることが挙げられている。本市においても、不登校やひきこもりは厳しい現状であるが、今後の展開は。

**答** 市長部局の事業と家庭教育支援の取り組みを一体化させ、情報を共有するなど充実を図る中で、人材の確保、家庭教育支援チームの構築を検討していく。



**「嶺岡牧」日本遺産登録申請等の進捗状況について**

**問** 日本遺産登録申請に係る国指定では、調査の準備を開始されたが、その内容と、今後の展開は。

**答** 嶺岡牧の文化財としての価値を明確にする目的で嶺岡東牧馬捕場跡の測量調査の準備を進めている。開始は来年度で、調査結果は平成32年度の見込み。

**問** 「嶺岡牧」シンポジウム等の開催内容は。

**答** 開催時期は、来年の2月頃、普段は目にすることが出来ない貴重な実物資料を展示。併せて、パンフレット作成ではA4判の三つ折りまたは、A3判二つ折を検討する。

**問** 文化財保護法の改正では、文化財行政を市長部局が担当出来るとなった。本市のブランドデザインを視野に入れた亀田市長の文化財行政への意気込みを伺う。

**答** 今回の改正を踏まえ、日蓮聖人、嶺岡牧、大山千枚田ほか、多くの文化財を活用して、観光振興、地域活性化に積極的に取り組んでいく。教育委員会と関係部署が密接に連携を図り、強い鴨川づくり、本市ならではの魅力を発信していく。

独自の移動が困難な要  
支援者に対する支援措置  
については、身内の支援

**問** 避難行動要支援者や  
土砂災害警戒区域内の住  
民に対する通報連絡体制  
等は。  
**答** 避難行動要支援者  
の方々は、安全に避難が  
できるよう、日中の明る  
い段階で、避難準備・高  
齢者等避難開始を発令し、  
その時点で地域内の要支  
援者全世帯に電話連絡  
で避難を呼びかけている。  
特に土砂災害警戒区  
内の住民に対しては、屋  
内で確実に防災情報が伝  
達できるように、全世帯  
に無償で防災ラジオを配  
布している。



誠和会  
佐久間 章 議員

台風等の風水害時  
の対応について

も福祉関係者の支援も得  
られない場合、市の災害  
対策本部の福祉班におい  
て、安全な避難支援対策  
を講じている。

**問** 避難所での防災情報  
の入手方法とテレビの設  
置状況は。  
**答** 現在は、防災ラジ  
オを部屋に設置し、ラジ  
オ放送および防災行政無  
線の情報を提供している。  
テレビの設置状況は、指  
定避難所12施設のうち、  
主基・東条公民館、コミュ  
ニティセンター小湊の3  
施設で、今後、残りの9  
施設については前向きに  
検討する。



避難所開設時における情報入手の方法は  
避難所へのテレビの設置を検討する

**問** ペットは家族の一員  
となっているが、ペット  
連れの避難所設置の考え  
は。  
**答** 避難所は、動物が苦  
手な方やアレルギーのある  
方など、さまざまな方々と  
の共同生活となるので、原  
則としてペットとの同居は  
できない。

ただし、津波等による  
大規模災害で体育館等を  
長期避難所として開設す  
る場合には、国のガイドラ  
インを踏まえながら、避  
難状況を把握し、飼育エ  
リアを設ける等の対応を  
していく。

**要望事項** ペットを連れ  
ての避難が出来るよう1  
カ所程度、ペット同伴の  
避難所開設を要望する。

通学路の安全確保  
について

**問** 昭和62年に発生し  
た、千葉県東方沖地震で  
ブロックの下敷きによる  
事故が発生し、県が一斉  
点検を実施し、現在市内  
に7箇所未改修箇所があ  
るが、対応は。  
**答** 昭和63年度と平成2  
年度に点検調査が行われ、  
旧鴨川市で6カ所を調査  
し、内13カ所が改善指導  
の対象で、その後6カ所  
が改善され、7カ所が追  
跡調査の対象となっている。  
県が実施する調査・指導  
に対して協力をし、通学  
路における危険なブロッ  
ク等の解消に努めると  
ともに、国、県の動向に注  
視し取り組んでいく。な  
お、天津小湊地区に改修

箇所はない。

駐輪場の設置管理  
状況は

**問** JR駅付近における  
駐輪場の設置状況と放置  
自転車の対策ならびに屋  
根つき駐輪場への整備  
改善は出来ないか。  
**答** JR安房鴨川・安房  
天津・安房小湊駅に合計  
341台分設置している。  
放置自転車対策は年1  
回、鴨川警察署の協力を  
得て実施している。  
屋根付駐輪場は、国の  
指針では、必要に応じて  
設置するものとされてお  
り、検討していく。

**要望事項** 5か年計画に  
屋根付駐輪場を盛り込  
んで頂きたい。



佐藤 和幸 議員

**問** 海水浴場駐車場の有料化による運営負担の考えは  
**答** 市営駐車場全体の有料化とあわせて検討を進める

**安心・安全、きれいな海水浴場の運営**

**問** 海水浴場の運営について現在の状況は。

**答** 平成28年度から、週末やお盆の時期を中心に4人の駐車場誘導員を配置し、駐車場への誘導や路上駐車対策などを実施している。一部、早朝からの路上駐車なども見



夏期シーズン海水浴場の駐車場として無料開放されている天津ポートパーク

受けられたが、全体として、大きなトラブルはなかったと考えている。

**問** 有料バーベキュー場の利用状況と、他の海水浴場への導入の考えは。

**答** 平成28年度146組、平成29年度203組、本年度183組となり、本年度は台風による荒天等があったが、順調に利用されている。

他の海水浴場への展開については、海水浴場に隣接する砂浜の部分等へ設置した場合、環境や備品の整備、排出されるごみの回収など、人員の配置や相応の投資も考える、民間団体や企業等が管理をしながら展開していくことが必要であると考えており、ニーズや現

状等を注視しながら検討を進める。

**鴨川市の文化財活用方針**

**問** 法改正により、文化財保護の事務を教育

委員会の所管から条例により市長が担当できるようになるが、文化財の活用について、市長部局へと移す考えはあるのか。

**答** 当面は現行どおり、文化財の保護に関する事務は教育委員会が所管するのが適切であると考え、今般の法改正は、これまでは保存に重点を置いていた文化財保護の考え方を改め、地域社会の中で文化財の積極的な有効活用を図ることが趣旨として盛り込まれたも

のである。法改正の趣旨を踏まえ、教育委員会と観光や地域づくりの関係部署が連携・協力を強化し、積極的に文化財の保護と活用に努めていく。

**問** 文化財保存活用地域計画の策定予定は。

**答** 市内の指定・未指定の文化財を総合的に保存するとともに、積極的に活用することを目的とした(仮称)鴨川市文化財保護活用計画策定のた

めの準備作業が5か年計画に位置づけられていること、現時点では、国の指針および県の大綱が定まっていないこと、地域活性化や観光振興における計画策定の必要性やその効果などを踏まえ、策定するか否かを検討したい。

**メガソーラー大規模開発計画の進捗状況は**

**問** 開発指導要綱の協議状況は。

**答** 事業者から提出された申請書の内容審査と関係各課の意見等の集約を行い、指摘事項をまとめた上、8月29日に事業者に送付し、現在回答を求めている段階である。

**問** 事業計画地内に文化遺産が存在すると聞いているが、保存活用をどのように図っていくのか。

**答** 工事中に遺構遺物が発見された場合は、直ちに工事を中止し、教育委員会と協議する条件を付しており、文化遺産保存の一つの対応策となる。



誠和会  
川股 盛二 議員

**観光施策について**

**問** 新たな観光施設（道の駅）の要望が近年、高まっている。産業振興、雇用の確保、企業誘致にもつながる観光施設の整備が、総合計画等に位置づけられることが必須だと思いが、市長の考えを伺う。

**答** 本市の地域振興や観光誘客に向け、その有効性、必要性等について、そして、事業主体のあり方、立地場所等、さまざまな角度から検討を進める。

**問** 市有観光施設、大海フラワー磯釣センターは事業者の経営悪化により、事業の継続が困難になり、契約の解除の申し出があった。施設

**問**

観光施策進捗状況の検証と分析を伺う

**答**

ここ数年は漸減傾向にあり、強い危機感を持っている

の老朽化が激しく、継続していくのが困難だと感じるが、現在の状況と将来的な同センターのあり方について伺う。

**答** 本市の観光振興に寄与している施設であり、地元の皆様方からも、強い存続要望がある。契約解除後の本施設の今後のあり方についての検討を行い、できる限り早く結論を出す。

**アナトリア開発事業について**

**問** アナトリア鴨川リゾート開発計画に際して事業者と市、市と計画区域内の地元区で協定や約束が取り交わされ、市は市道廃止に関係する4地区の区長と、開発が中止になったときに公道とし

ての機能管理を行うことを公式に約束している。今後、地元区および地権者に対して、どのように説明、対応するのか伺う。

**答** 関係地権者や地元に対して、事業の中止と会社の清算について報告をするとともに、開発区域内の道路の機能の復元およびその後の維持管理に関して、意見、要望を伺う。



アナトリア地域にある旧市道の一部

**問** 事業者が取得している土地の、今後の計画

について伺う。

**答** 会社の清算手続上、土地は処分されることになると思うが、事業者に対して、やみくもに転売されることのないよう、協議、申し入れをしていく。

**問** 開発計画区域内の道路機能の復元について伺う。

**答** 廃止した市道の再認定については、現在の状況では基準に適合しないため難しい。そこで、赤道として機能を復元し、維持管理をしていくことが相応と思うが、まずは地元の方々のご意見、ご要望を伺い、協議していきたい。

**ため池の緊急点検について**

**問** 本年7月西日本豪雨で再びため池の決壊が相次ぎ、国は各都道府県に対し、緊急点検を実施するように指示を出した。当市には対象となるため池があったのか、あった場合の調査結果は。また、結果を踏まえて、市としての対応についても伺う。

**答** 市内3カ所のため池で、堤体上部に発生したクラックや陥没、堤体法面にボラ穴等を確認したが、周囲の人家や施設等に甚大な影響を及ぼすものではなかった。緊急点検で確認された変状の対応については、再度現地調査を行い、施設管理者と協議の上、補修方法について検討する予定である。

# 定例会議案等議決結果

## 【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第 51 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 30 年度鴨川市一般会計補正予算（第 3 号））	付託省略		承認（全会一致）
議案第 52 号	鴨川市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決（全会一致）
議案第 53 号	物品購入契約の締結について（消防ポンプ自動車購入）	総務	可決	可決（全会一致）
議案第 54 号	平成 30 年度鴨川市一般会計補正予算（第 4 号）	予算	可決	可決（賛成多数）
議案第 55 号	平成 30 年度鴨川市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	総務	可決	可決（全会一致）
議案第 56 号	平成 30 年度鴨川市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	文教厚生	可決	可決（全会一致）
議案第 57 号	平成 30 年度鴨川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	総務	可決	可決（全会一致）
議案第 58 号	平成 30 年度鴨川市病院事業会計補正予算（第 2 号）	文教厚生	可決	可決（賛成多数）
議案第 59 号	平成 29 年度鴨川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	建設経済	可決及び認定	可決及び認定（賛成多数）
認定第 1 号	平成 29 年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算	認定	認定（賛成多数）
認定第 2 号	平成 29 年度鴨川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	認定	認定（全会一致）
認定第 3 号	平成 29 年度鴨川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	認定	認定（全会一致）
認定第 4 号	平成 29 年度鴨川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	認定	認定（賛成多数）
認定第 5 号	平成 29 年度鴨川市病院事業会計決算の認定について	文教厚生	認定	認定（賛成多数）

## 【報 告】

報告番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
報告第 10 号	平成 29 年度鴨川市の健全化判断比率について			
報告第 11 号	平成 29 年度鴨川市水道事業会計の資金不足比率について			
報告第 12 号	平成 29 年度鴨川市病院事業会計の資金不足比率について			

## 【陳 情】

陳情番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
陳情第 1 号	メガソーラー建設計画に反対する陳情書	建設経済	趣旨採択	趣旨採択（賛成多数）
陳情第 5 号	玄関まで来てくれる乗合タクシー実現に関する陳情書	総務	不採択	不採択（賛成なし）
陳情第 6 号	国保税の 1 世帯 2 万円引き下げに関する陳情書	総務	不採択	不採択（賛成なし）

**賛否の公表** 右表の議案等(全会一致のものを除く)について、議員別に賛否を公表します。○・・賛成 ×・・反対 欠・・欠席 退・・退席(棄権)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決年月日	結果	賛成	反対
	秋山 貢輔	長谷川 倫秀	松井 寛徳	本吉 正和	杉田 至	佐藤 和幸	佐々木 久之	川股 盛二	川崎 浩之	佐久間 章	福原 三枝子	渡邊 仁	久保 忠一	庄司 朋代	平松 健治	鈴木 美一	渡辺 訓秀	辰野 利文				
議案 第 54 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	H30.9.27	原案可決	16	1
議案 第 58 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	H30.9.27	原案可決	16	1
議案 第 59 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	H30.9.27	原案可決及び認定	16	1
認定 第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	H30.9.27	原案認定	16	1
認定 第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	H30.9.27	原案認定	16	1
認定 第 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	H30.9.27	原案認定	16	1
陳情 第 1 号	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	-	○	○	○	×	H30.9.27	趣旨採択	12	5

※ 議長(14番 庄司朋代)は、過半数議決の場合は表決に加わりません。ただし、可否同数の場合は裁決権を行使します。また、特別多数議決の場合は、議長は議員として表決権を有しています。

### 用語解説

- ★ 1「趣旨採択」とは…………… ○ 願意をそのまま認めることは困難であるが、趣旨が妥当と認められるものこと
- ★ 2「認定こども園」とは…………… ○ 幼稚園と保育所が併設している施設。教育と保育を一体的に行うことができるもの
- ★ 3「不納欠損」とは…………… ○ 破産、行方不明、死亡により相続人がいない場合、財産がない場合などで、徴収が見込めなくなったために税金などの滞納を翌年に繰り越さないように処理すること
- ★ 4「合併算定替え」とは…………… ○ 合併市町村に係る普通交付税の算定方法の特例で、合併後の一定期間に限って、普通交付税の額が合併前の額により減少しないようにするための特別な算定方法の通称のこと
- ★ 5「事業仕分け」とは…………… ○ 仕分け人(外部の識者や行政経験者)が、外部かつ現場の視点により公開の場でわかりやすく議論を交わし、その議論を市民判定人が聞き、判定する仕組みのこと
- ★ 6「市民後見推進事業」とは… ○ 後見人とは、認知症などの理由で判断能力が十分でない人に代わって、財産管理の権限を得られた人。弁護士等ではなく一般市民による後見人を市民後見人と呼び、市民後見人を養成・支援する事業のこと
- ★ 7「プライマリーケア」とは… ○ 身近にあって、何でも相談に乗ってくれる総合的な医療のこと

## 平成 30 年度鴨川市議会議員研修会を開催



平成 30 年 8 月 20 日に鴨川市議会議員研修会を開催しました。  
 演題 「地方議会・議員に求められる役割・権限と議会(議員)活動のあり方」  
 講師：鶴沼 信二 氏  
 元全国都道府県議会議長会事務局次長

# 中学生 だより 10

このコーナーでは、市内の中学生の日ごろ感じていることや将来の夢などを紹介します。鴨川市議会は、そういった思いを後押ししていきます。



鴨川中学校  
2年

鈴木 倫太郎さん

今年、鴨川中学校は開校8年目を迎えました。この地域で最も生徒数が多く、鴨中祭や体育祭の行事は毎年とても盛り上がり、とても活気のある学校です。先日の生徒会役員選挙で、私は生徒会長となりました。私には夢があります。それは、この鴨川中学校を、生徒一人ひとり为中心となって活躍し、一丸となり活動する、さらにいい学校にすることです。先輩方が残した素晴らしい伝統を引き継ぎ、何事にも全力で取り組んでいきたいと思ひます。まずは、目の前にある毎日の学校生活の清掃や挨拶などから一生懸命にやっいていこうと思ひます。生徒会長として学校を盛り上げていきます。地域の皆様、応援よろしくお願ひします。

## 新しい鴨川中学校に向けて

今年、鴨川中学校は開校8年目を迎えました。この地域で最も生徒数が多く、鴨中祭や体育祭の行事は毎年とても盛り上がり、とても活気のある学校です。

先日の生徒会役員選挙で、私は生徒会長となりました。私には夢があります。それは、この鴨川中学校を、生徒一人ひとり为中心となって活躍し、一丸となり活動する、さらにいい学校にすることです。先輩方が残した素晴らしい伝統を引き継ぎ、何事にも全力で取り組んでいきたいと思ひます。まずは、目の前にある毎日の学校生活の清掃や挨拶などから一生懸命にやっいていこうと思ひます。生徒会長として学校を盛り上げていきます。地域の皆様、応援よろしくお願ひします。



長狭中学校  
3年

須鎌 有香さん

私は将来、医療関係の仕事に就きたいと思ひています。理由は私の母が医療関係の仕事に就いていることもあります。人の命を預かる仕事、自分の手で人を救う仕事は本当に凄いなと思ひましたし、自分も病気で苦しんでいる人を救いたいなと思ひました。実際に母の働いている姿を見ると、白衣を着て患者さんのために一生懸命仕事をしていて、本当にかっこいいなと思ひました。いつか私もこんな風になりたいと強く感じ、たくさんの人を笑顔にできるような人になりたいと思ひました。今はまだ中学生ですが、将来に向けての良いスタートを切れるように、これから一歩一歩、自分の夢に向かってできることをやっいていきたいです。

## 将来の自分・・・

私は将来、医療関係の仕事に就きたいと思ひています。理由は私の母が医療関係の仕事に就いていることもあります。人の命を預かる仕事、自分の手で人を救う仕事は本当に凄いなと思ひましたし、自分も病気で苦しんでいる人を救いたいなと思ひました。実際に母の働いている姿を見ると、白衣を着て患者さんのために一生懸命仕事をしていて、本当にかっこいいなと思ひました。いつか私もこんな風になりたいと強く感じ、たくさんの人を笑顔にできるような人になりたいと思ひました。今はまだ中学生ですが、将来に向けての良いスタートを切れるように、これから一歩一歩、自分の夢に向かってできることをやっいていきたいです。

## 議会報編集委員会

委員長	杉田至
副委員長	佐藤和幸
委員	庄司朋代
〃	佐久間章
〃	本吉正和
〃	松井寛徳
〃	長谷川倫秀
〃	秋山貢輔

(秋山貢輔)

だんだんと秋も深まり皆様におかれましては、お身体の調子などはいかがですか。私たち新人議員にとつて、初めての決算審査となる9月議会でした。市民の皆様の税金がどのように使われているか、各議員から活発な質疑、討論がなされました。鴨川市の財政は非常に厳しい状況にあります。何が必要で、何を節約しなければならぬのか。先に行われた事業仕分けのように、市民の皆さんと一緒に考えていかなくてはならないと思ひております。

# 市議会を見る

次の定例会は  
**11月30日(金)**

開会予定です

市役所



議場にて

しつかり

1番のおすすめは、議場の傍聴席。団体・グループでの傍聴もできます。また、議場にて議案書等の貸し出しを行っています。

市役所



市政情報コーナーにて

気軽に

正面玄関から入ってすぐ左手。モニターで生中継がご覧になれます。

## ご家庭や公民館で

ご自宅のパソコンで、議会審議の様子がライブ中継と録画中継でご覧になれます。

鴨川市議会

検索

いつでも

## 会議録の閲覧

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。

平成30年第3回定例会の会議録は、11月下旬ごろ掲載予定です。

お問合せは議会事務局まで。

電話 04-7093-7825

FAX 04-7093-7848

# 編集後記